

MAS (Modified Ashworth Scale) 記録用紙



原著 : Bohannon RW, Smith MB. Phys Ther. 1987;67(2):206-207.

氏名 ()	ID ()
年齢 () 歳 性別 (M / F)	診断名 ()
発症日 (年 月 日)	麻痺側 (右 / 左) 利き手 (右 / 左)

MAS グレード定義 (Bohannon & Smith, 1987)

0	筋緊張の亢進なし	1	終末域でキャッチと解放、または最小限の抵抗	1+	キャッチ後、可動域の残り半分未満で最小限の抵抗
2	大部分にわたる明らかな亢進、容易に動かせる	3	著明な亢進、他動運動困難	4	強直 (屈曲位/伸展位で固定)

上肢 MAS 測定記録

評価日					
評価者					
肩関節周囲筋					
肘屈筋					
肘伸筋					
手関節屈筋					
手関節伸筋					
手指屈筋					

下肢 MAS 測定記録

評価日					
評価者					
股関節内転筋					
膝屈筋					
膝伸筋					
足関節底屈筋					

変化量の判定

判定項目	2回目→1回目	3回目→2回目	4回目→3回目	5回目→4回目
対象筋群				
変化量 (段階)				
MDCを超えたか (Y/N)				
MCIDを超えたか (Y/N)				

MDC・MCID 参照値

指標	値	解釈	出典
MDC	約1点	1段階以上の変化 = 測定誤差ではない	Shaw (2010)
MCID 上肢	0.76点	1段階以上の変化 = 臨床的に意味あり	Chen (2019)
MCID 下肢	0.73点	1段階以上の変化 = 臨床的に意味あり	Chen (2019)

カットオフ値 早見表

MASスコア	臨床的解釈	出典
0	痙縮なし	Bohannon (1987)
≥ 1	痙縮あり (研究での標準定義)	Opheim (2014)
≥ 2	中等度痙縮 (BoNT-A RCT組入れ基準)	Shaw (2010)
≥ 3	重度痙縮	Zeng (2021)
足底屈筋 > 2	歩行速度低下を予測 (感度100%)	Freire (2023)

特記事項

本記録用紙はBRAIN独自に作成した臨床補助ツールです。詳細な採点基準は原著 出典 : Bohannon (1987) PMID:3809245 / Shaw (2010) PMID:20515600 / 論文を参照してください。教育・臨床目的での使用を想定しています。 Chen (2019) PMID:30868834 / Freire (2023) PMID:35171052